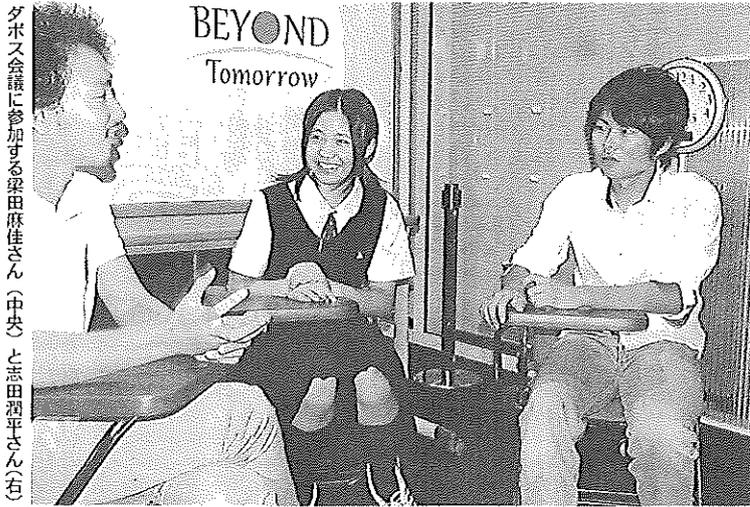


被災の若者 国際会議へ

梁田さん(慶応大)と志田さん(岩手大)



夕ボス会議に参加する梁田麻佳さん(中央)と志田潤平さん(右)

中国で状況訴え

四川の遺児と交流も

盛岡市の盛岡一高1年梁田麻佳さんと岩手大工学部1年の志田潤平さんは、14、16日に中国・大連市で開かれる世界経済フォーラムの年次総会(夕ボス会議)に参加する。東日本大震災被災地の高校生、大学生の代表として、被害状況や支援への感謝などを世界に発信。現地住民や四川大地震の遺児らとも交流し、日中間の相互理解を深める。

一般財団法人教育支援 崎町出身。震災当日は仙
グローバル基金(東京) 台市にいて、家族と連絡
による教育支援事業「B」が取れない状況だった。
EYOND Tomorrow 大船渡市を訪れたのは3
row(ピョンドクモ 月下旬。津波で家は全壊
ロー)の一環。2人は、両親は現在、仮設住
11、12の両日、東京で同 宅で生活している。

志田さんの目標は都市
会議に向けた研修を行 計画を学び、地元の街づ
い、13日に大連市に出発 くり貢献すること。今
する。

梁田さんは釜石市鶴住
居町出身で釜石東中を からの支援のおかげ。感
卒業。3月11日は、同校 謝の気持ちとともに、地
で同級生と過ごしてい 域の団結力、「コミュニテ
た。迫り来る津波の恐 イー力」の大切さを伝えた
怖や被害の大きさを知っ い」と決意する。

たときの悲しみなどが 教育支援グローバル基
「心の傷」となっている 金の井上裕太・事業統括
という。 は「世界のリーダーが集

「会議では被災地が前 まる会議への参加を、自
を向き、一歩ずつ進もう 分の目標、夢に向けた第
として、一歩ずつ進もう 一歩にしてほしい」と願
い。四川大地震で被災し う。

た人たちと想いを共有 同会議には梁田さんと
し、「痛みを和らげたい」 志田さんのほか、宮城、
と語る。 福島両県の高中生3人、
大学生2人も参加する。

志田さんは大船渡市赤